

総務省

公開プロセス結果の平成26年度予算概算要求への反映状況

(単位：百万円)

事業番号	事業名	平成24年度 補正後予算額	平成24年度		公開プロセス		平成25年度 当初予算額 A	平成26年度 要求額 B	差引き B-A=C	Cのうち 反映額	反映内容	備考
			執行可能額	執行額	評価結果	とりまとめコメント(概要)						
0035	総務省所管府省共通情報システムの一元的な管理・運営	1,179	1,106	1,036	事業内容の改善	各システムの利用率向上のための問題分析を行い、対策を講じるべき。そのためにも、利用者側のニーズを十分に把握すべき。経費削減効果に関するデータをよりわかりやすく開示すべき。	1,553	991	▲562	-	執行等改善 ・電子決裁率低調の要因分析等を行うため、6月の電子決裁率の調査結果を踏まえ、各府省へのヒアリングなど電子決裁推進の取組の実態調査を行うなど、利用率向上のための問題分析を行う。 ・政府調達事例データベースについては、26年度末までに、政府情報システム管理データベースの機能に一本化することにより、更なる経費の効率化を図る。	
0065	小型航空機搭載用合成開口レーダーの研究開発	950	950	923	事業全体の抜本的改善	応用段階の技術開発研究であることから、他府省のニーズと利用見込みを十分確認すべきである。また、必要性和重複についても十分確認すべきである。	950	760	▲190	-	執行等改善 研究開発は他府省のニーズを踏まえて実施していると認識しているが、行政事業レビューの指摘を踏まえ、改めて他府省のニーズや重複がないことを確認した上で事業を実施していくこととする。	
0164	消防庁所管情報システムの最適化に要する経費	253	253	252	事業内容の改善	一元化による効果をより明確に示すべきである。 また、政府全体として、防災情報システムの統一性、統合性、効率性を図るべきである。	239	153 (その他特殊要因105)	▲86	-	執行等改善 ○平成19年度及び平成24年度に策定した最適化計画によりシステム一元化の取組を行っているが、毎年の行政事業レビューにおいて一元化の効果の評価し、公表する。 ○内閣府の総合防災情報システム等について、詳細な仕様等を確認した上で、内閣府等と協議し、防災情報システム間の接続・連携について検討する等、政府全体としての統一性、統合性、効率性の確保を図る。 ○消防庁が所管するシステムについて、更なる一元化等を通じて運用・保守経費の低減・効率化を図り、最適化計画の見直しを行う。平成26年度概算要求においては、運用・保守におけるスベックの見直し等を実施し、一層の業務の効率化・合理化に留意した上で、引き続き所要額を計上。	
合計		2,382	2,309	2,211			2,742	1,751	▲991	-		

注1. 「執行可能額」とは、補正後予算額から繰越額、移換用額、予備費等を加除した計数である。

注2. 「反映内容」欄の「廃止」、「段階的廃止」、「縮減」、「執行等改善」及び「現状通り」の考え方については、次のとおりである。

「廃止」：行政事業レビューの点検の結果、事業を廃止し平成26年度予算概算要求において予算要求していないもの。（行政事業レビュー点検以前に平成24年度末までに廃止されたものは含まない。）□

「段階的廃止」：行政事業レビューの点検の結果、明確な廃止年を決定するとともに平成26年度予算概算要求の金額に反映はするものの、予算要求をしているもの。

「縮減」：行政事業レビューの点検の結果、何らかの費直しが行われ平成26年度予算概算要求の金額に反映を行うもの。□

「執行等改善」：行政事業レビューの点検の結果、平成26年度予算概算要求の金額に反映は行わないものの、執行等の改善を行うもの。（概算要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を意思決定済み」となるものに限る。「今後検討」や「～に向けて努める」などのようなものについては含まない。）□ □

「現状通り」：行政事業レビューの点検の結果、平成26年度予算概算要求の金額に反映すべき点及び執行等改善すべき点なかったもの。（廃止、段階的廃止、縮減及び執行等改善以外のもの。）